

令和3年度当初予算知事審査における主要な議論

(産業労働部)

「DX導入支援関連事業」(B1、B12)

知事 作成中の「埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画」との関連性はどうか。

担当部局 県全体の計画についても、企画財政部において現在策定中である。

知事 DX導入支援における県の短期的な目標を明確にし、経営指導員がどういう役割を果たすのか、そのために必要なノウハウは何かを整理した上で、経営指導員の底上げを図ってほしい。

担当部局 御指摘の点を踏まえて実施する。

「先端産業支援関連事業」(B44、B45)

知事 良い製品を開発してもマッチングがうまくいかずに終わるような企業が多い。開発の後のフォローアップをどう考えているのか。

担当部局 販路開拓のマッチングとして、産業振興公社が実施する展示会の出展支援などにつないでいく。

知事 県は金融機関と違い、的に当たる手前のもうちょっと射程距離を伸ばせば当たるくらいの所を支援すべきではないか。技術開発を支援する時点から、その見極めが非常に重要である。

担当部局 民間が手を出しにくいところに支援をすべきと考える。そういった視点を入れていきたい。

「農大跡地活用等推進事業」(B48)

- 知 事 ロボット開発支援フィールドの整備に関して、圏央道周辺の企業がどういうニーズを有しているのか確認したのか。
- 担当部局 59社にヒアリング調査を実施したところ、利用したいという企業が多い。具体的には、建設機械に自動運転ロボットを搭載した実証実験を実施したいというニーズがあった。
- 知 事 ロボット開発支援という目的は了解したので、引き続き目的を明確にして進めること。

「eスポーツ等を活用した観光振興事業」(B100)

- 知 事 V t u b e r は面白い取組と思うが、県民への認知度を高めるための工夫についてどのように考えているか。
- 担当部局 V t u b e r の選考に際しては、擬人化してアイドルのオーディションのような形で実施できればと考えている。
- 知 事 観光だけでなく、イベントの司会など様々な分野での活用を考えてほしい。
- 担当部局 了解した。まずは観光分野で活用して知名度の向上を図り、順次、活用分野を広げていきたい。

「飲食店等が行う新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業」(B138)

- 知 事 補助対象となる内装・設備工事の範囲をどのように考えているか。
- 担当部局 換気設備や間仕切りの設置など、感染症対策に効果があると考えられる設備を対象としたい。
- 知 事 中身を絞ってはどうか。感染症対策にもなるし、アフターコロナを踏まえた将来的にも使えるような設備を対象とするのが望ましい。
- 担当部局 御指摘の点を整理し、実施したい。

「商店街安心・安全促進事業」(B16)

- 知 事 販売促進事業について、商店街のニーズはあるのか。
- 担当部局 1月に担当課が県内 165 商店街のニーズを聞いたところ、集客につながる事業を希望する意見が最も多く、補助金による支援を希望する声も多かった。
- 知 事 感染症対策について、専門家の助言を行う趣旨は。
- 担当部局 専門家等に各商店街のセルフチェックシートを見てもらい、感染症対策に関するアドバイスをしていただくことで、対策に不足がないようにしたいと考えている。

「With コロナ時代に対応した地場産業のチャレンジ支援事業」 (B21)

- 担当部局 例えば人形組合では、コロナの影響で売上が激減し、在庫が積み上がっていると聞いている。地場産地組合によるネット販売の仕組みの構築やオンライン展示会用の動画作成など新たな販路開拓の取組を支援したい。
- 知 事 これはよいと思う。しっかり進めてほしい。

令和 3年度予算見積調書

課室名：産業労働政策課、商業・サービス産業支援課
 担当名：商工団体担当、総務・サービス産業担当
 内線：3721、3754 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B 1 B 12	D X 導入支援関連事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	小規模事業経営支援推進費 サービス産業支援事業費		
事業期間	令和3年度～ 令和5年度	根拠 法令	なし			宣言項目 分野施策	08 稼ぐ力の向上 040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援			
1 事業概要	県内の中小企業、小規模事業者のD Xを推進するため、導入のキーマンとなる経営者への働き掛けを強化する。 また、サービス産業の生産性向上に有効なI C Tを活用した取組を支援する。 (1) 小規模事業経営支援推進費 D X推進員の設置 6,400千円 (2) サービス産業事業者I C T・A I活用支援事業 8,035千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア D X推進員による中小・小規模事業者のD X導入支援 6,400千円 県連合会にD X推進員を設置し、経営指導員の資質向上を図るとともに、事業者のD Xを推進する。 イ サービス産業におけるD Xの促進支援 8,035千円 (ア) D X推進セミナーの開催 10回 (イ) I C T活用コーディネーターによるD X推進支援 180件 (2) 事業計画 ア 令和3年度～5年度 D X推進員の設置、導入マニュアル作成、経営指導員向け研修、企業訪問 イ 令和2年度～ 事例紹介、相談会・セミナーの拡充、連携支援体制の強化、キャッシュレス対応支援 (3) 事業効果 ア 小規模事業者に対し、D X導入に関するきめ細やかな支援を行い商工業の振興、発展に寄与する。 イ 広くI C T活用の先進事例を紹介することで、I C T導入を拡大し、県内サービス産業の生産性向上に寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 公社I C T活用コーディネーター、よろず支援拠点、商工会・商工会議所、金融機関、専門家、有識者、民間I Tベンダー等との連携を強化し、支援の拡充を図る。						
2 事業主体及び負担区分	B1：(県10/10) B12：(1) (県10/10) (県10/10) 産業振興公社0 (2) (県10/10) ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用									
3 地方財政措置の状況	普通交付税措置 商工行政費 中小企業振興指導費 中小企業団体等振興指導費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	14,435	14,435						0	6,797	
前年額	7,638							7,638		

令和 3年度予算見積調書

課室名：先端産業課
 担当名：推進担当、総務・企画担当、次世代産業拠点
 内線：3736 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
B44～ B45	先端産業支援関連事業	一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成26年度～ 令和4年度	根拠法令	なし	宣言項目 分野施策	08 稼ぐ力の向上 040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進			
1 事業の概要	<p>県内中小企業の稼げる力の向上を目指し、国が実施する補助事業の獲得支援や技術マッチングを行う。 また、デジタルテクノロジーの活用を促進するため、県内中小企業へのAI・IoT等の活用支援や先端デジタル技術の実証支援を行う。</p> <p>(1) 技術開発サポート事業 83,369千円 (2) デジタルテクノロジー活用推進事業 166,540千円</p>							
2 事業主体及び負担区分	<p>(1) (県2/3) 事業者1/3、(県10/10) 公社0 (2) (県10/10) 公社0、(県2/3) 公社0・事業者1/3、(国1/2・県1/2) 公社0 [地域再生計画関連]、(県10/10) 事業者0</p>							
3 地方財政措置の状況	<p>(1) なし (2) 普通交付税 (単位費用) (区分) 地域振興費 (細目) 地域振興費 (細節) 地域振興共通経費</p>							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>(1) 9,500千円×11.0人=104,500千円 (2) 9,500千円×5.5人=52,250千円</p>							
5 事業説明	<p>(1) 事業内容 ア 技術開発サポート事業 83,369千円 ・ 国庫補助金の獲得・マッチングの支援 ・ コーディネーターを設置しサポインなど国補助金の獲得支援及び技術開発マッチング ・ 国の制度と連携した開発補助 ・ 国の補助制度活用の事前準備やフォローアップに対応した開発補助等 イ デジタルテクノロジー活用推進事業 166,540千円 ・ AI・IoTの活用支援 ・ AI・IoT・ロボットシステムトライアル補助による先進事例の創出・発信、及び県内大学と連携したものづくりデジタル人材の育成等 ・ 技術実証支援 ・ デジタル技術を活用した製品の実証支援、及び実証フィールド (旧毛呂山高校) 維持管理費の一部負担</p> <p>(2) 事業計画 ア R3年度～ 製品開発支援、補助金等獲得支援、技術マッチング支援 イ 令和元年度 AI・IoTコンソーシアム設立、AI・IoTプラットフォーム完成、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 令和2年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム機能拡充、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 令和3年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム活用支援、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援</p> <p>(3) 事業効果 ア 専門家の知見を取り込みながら、製品の開発の支援により、県内中小企業の「稼げる力」の向上を図ることができる。 イ ロボット・AI・IoTの導入や人材育成支援等により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 埼玉県産業振興公社、大学・研究機関、民間企業等と連携して実施する。 イ 埼玉県産業振興公社、民間企業、専門家等と連携して実施する。</p>							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	繰入金					
決定額	249,909	20,080	226,829				3,000	△456,349
前年額	706,258	18,830	658,280				29,148	

令和 3年度予算見積調書

課室名: 先端産業課
 担当名: 次世代産業拠点整備担当
 内線: 3933 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B48	農大跡地活用等推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	なし				宣言項目	08	稼ぐ力の向上	
						分野施策	040831	新たな産業の育成と企業誘致の推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>鶴ヶ島ジャンクション周辺地域について、農大跡地を中心に先端産業・次世代産業などの成長産業を集積して経済の好循環をもたらす。</p> <p>(1) 農大跡地活用推進事業 68,892千円</p> <p>(2) 農大跡地周辺地域活用推進事業 2,963,026千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 農大跡地について、先端産業・次世代産業などの成長産業を集積するため、南側産業用地の売却を進める。農大跡地周辺地域について、ロボット開発支援フィールド（仮称）やロボット開発オープンイノベーションセンター（仮称）を整備する。</p> <p>(2) 事業計画 令和3年度 農大跡地：環境影響評価（事後調査）、成長産業の集積に向けた準備等 周辺地域：ロボット開発支援フィールド（仮称）整備（土地造成等実施設計、地質調査等） ロボット開発オープンイノベーションセンター（仮称）整備（基本構想等策定）</p> <p>令和4年度以降 農大跡地：環境影響評価（事後調査） 周辺地域：ロボット開発支援フィールド（仮称）（造成工事等） ロボット開発オープンイノベーションセンター（仮称）整備（設計等）</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(3) 事業効果 先端産業・次世代産業などの成長産業の集積により、経済の好循環をもたらす。</p>						
<p>3 地方財政措置の状況</p>				<p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地元鶴ヶ島市や周辺自治体等と連携して事業を進める。</p>						
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6人=57,000千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		財産収入	繰入金							
決定額	3,031,918	126	3,031,792					0	△235,799	
前年額	3,267,717		3,267,717					0		

令和 3年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：DMO支援・観光振興
 内線：3955

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B100	eスポーツ等を活用した観光振興事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費		
事業期間	令和3年度～	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 040835 観光の振興	
1 事業概要 若者らの注目が高く、集客力にも優れる民間主催のeスポーツイベントとの連携を通じて、県内への誘客や県産品販売などに組み組み観光振興を図る。 あわせて、V t u b e rを活用することにより県内外に本県観光の魅力を効果的に伝え、幅広い層の誘客につなげる。 (1) 民間主催のeスポーツイベントとの連携事業 5,000千円 (2) V t u b e rを活用した観光PR事業 5,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 民間主催のeスポーツイベントとの連携事業 5,000千円 イ V t u b e rを活用した観光PR事業 5,000千円 (2) 事業計画 ア 民間主催のeスポーツイベントとの連携事業 ・eスポーツイベントと連携した埼玉プロモーション、県産品の販売 イ V t u b e rを活用した観光PR事業 ・話題づくりのため選考過程を公開し、一般向けにWEB投票も実施 ・最優秀Vtuberを「埼玉バーチャル観光大使」(仮称)に任命 ・県の観光プロモーション方針に沿って動画を制作し、効果的に発信 (3) 事業効果 eスポーツイベントを観光コンテンツとして活用することにより、若者などへの訴求が可能となり、県内への誘客と県産品の販売増などの観光振興につなげることができる。 また、V t u b e rを活用することで新たな埼玉ファンを獲得し、より多くの方に本県観光の魅力を効果的に伝え、誘客につなげる。 V t u b e rが登場する動画の配信(視聴回数 10万回)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用										
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 観光及び物産振興費 観光及び物産振興費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	10,000	10,000						0	10,000	
前年額	0							0		

令和 3年度予算見積調書

課室名：産業労働政策課、商業・サービス産業支援課
産業支援課

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B16, 21, 138	国総合経済対策への対応事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費			
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	なし				宣言項目分野施策			
1 事業の概要	<p>国の総合経済対策に対応し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（地方単独事業分）を活用して産業労働部において新たに実施する事業。</p> <p>(1) 飲食店等が行う新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業 420,000千円 (2) 商店街安心・安全促進事業 13,870千円 (3) Withコロナ時代に対応した地場産業のチャレンジ支援事業 8,368千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 飲食店等が行う新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業 中小企業等で業界団体が作成するガイドライン等に基づく感染予防対策を行う飲食店等に対し補助する。</p> <p>イ 商店街安心・安全促進事業 商店街を対象に感染症対策研修等を実施し、専門家による助言を踏まえ、感染症対策を促進するとともに、販売促進の取組に対し補助する。</p> <p>ウ Withコロナ時代に対応した地場産業のチャレンジ支援事業 地場産品を製造する産地組合等が実施するWithコロナに対応するための新たな取組等に対し補助する。</p> <p>(2) 事業効果 コロナ禍における経済社会の変化に対応した県内中小企業、商店街、組合等を支援することにより、本県経済の回復を図る。</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>(1) (県2/3) 事業者1/3 (2) (県10/10) 事業者0、(県3/4) 事業者1/4 (3) (県2/3) 事業者1/3、(県1/2) 事業者1/2 ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用</p>									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>(1) 9,500千円×0.1人=950千円 (2) 9,500千円×2.0人=19,000千円 (3) 9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	442,238	442,238						0	442,238	
前年額	0							0		